



白岩城址燈火祭

かがり火が歴史を照らす



館山のかがり火とミニかまくら
の光が来場者を魅了します。



民謡生演奏では、ひでこ節など
が手踊りで披露されました。

第15回白岩城址燈火祭が

2月6日、白岩地区の特設
会場で行われました。

この祭りは中世の山城・
白岩城跡の周辺をかがり火
などで照らすもので、幻想
的な雰囲気味わえます。

約300個のミニかまくら
の背景に浮かび上がる館
山参道の約500個のかが
り火が灯されると、訪れた
人たちから歓声が上がしま
した。会場では、綱引きや
火振りかまくら体験も行わ
れ、参加者は大いに楽しん
でいました。



火振りかまくら体験では、勢いを
増す炎に歓声が上がりました。

火振りかまくら

願いを込めた炎の軌跡



400年以上の歴史があるといわれる火振りかま
くら。炭俵には1m程の縄が結ばれていて、その
縄で俵を振り回します(上)。会場に設置され
たミニかまくらも風情を添えました。



伝統行事火振りかまくらが、2月13日に松木内川堤沿いの桜並木駐車場で行われ、五穀豊穡や無病息災を願う炎の輪がいくつも広がりました。今年準備された炭俵は800俵。天候はあいにくの雨模様でしたが、地域住民や外国人の観光客などが多く集まり、次々と火振りかまくらに挑戦しました。会場には約200個のミニかまくらも並べられ、やわらかな灯りの雰囲気を出し、翌14日は、角館町の各所で火振りかまくらが行われました。

こんなに冬祭りは楽しい

～感動体感。寒いからこそあったかい仙北市の冬まつり～

上松木内の紙風船上げ

夜空に浮かぶ巨大紙風船



2月10日、上松木内の紙風船上げが西木町紙風船館の特設会場で行われ、大勢の人で賑わいました。今年も穏やかな天候に恵まれ、五穀豊穡や無病息災、家内安全などの願いを託した高さ約6mの大型紙風船が次々と空に舞い上がりました。

会場に集まった多くの観客からは歓声が上がリ、雪の夜空に舞い上がった大小約100個の幻想的な灯りをいつまでも見守っていました。

和紙を貼り合わせ作られた紙風船は約6mにもなります。毎年ユニークな作品が打ち上げられ観客を魅了します。ガスバーナーで熱風を送り風船を膨らませ、空気の入り口に付けた布玉に点火すると舞い上がります。



松葉・相内の裸参り

無火災願い参道も駆け



裸参りには地元以外の方も参加できます。元気なかけ声とともに金比羅神社を目指しました。



松木内川が増水のため、足下を浸すのみとなりましたが、参加者は明るい表情。このあと金比羅神社まで元気に駆け上がり、無火災を祈願しました。



2月14日、松木内の松葉地区で裸参りが行われました。今年も時折雨の降る天候となりましたが、地元の若者や東京・茨城など関東圏の方々が参加しました。例年行方松木内川でのお清めは一部変更されましたが、一行は金比羅神社を目指し、沿道の声援を受けながら元気に走りまわりました。

田沢湖高原雪まつり

スキーワールドカップもPR



けっちぞり大会(右上)やゆるキャラ大集合などが行われ、会場は賑わいを見せました。

2月20日、21日の2日間にわたり、たざわ湖スキー場特設会場で、田沢湖高原雪まつりが開催されました。今年も「2016 FIS フリースタイルスキーワールドカップ」を1週間後に控え、PRに向けた「えあモーグル選手権」などの多彩な催しが行われました。会場には、県内外の大学生たちが制作した動物などの精巧な雪像も多数展示され、多くの来場者を楽しませました。一部天候により中止事業もありましたが「けっちぞり大会」や「ゆるキャラ大集合」などのイベントで両日とも会場は賑わいを見せました。

